

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月03日

計画の名称	濃飛横断自動車道と一体的に機能する中津川市内幹線道路網の整備													
計画の期間	平成 2 8 年度 ~ 平成 3 2 年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	中津川市													
計画の目標	地域高規格道路と一体的に機能する市内の各拠点相互や近隣市町村を連絡する市内幹線道路網の整備を行い、安全・安心で利便性が高く、円滑な産業活動を支えストック効果が最大限発揮できる交通環境の形成を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		1,980	A	1,980	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		H32末
1	・中津川市街地から中津川市民病院、美乃坂本駅までの所要時間を30%短縮 ・時間短縮効果 【30% = Σ（整備前通過時間：10min - 評価時点での通過時間：7min） / Σ（整備前通過時間：10min）*100】	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	中津川市	直接	中津川市	市町村 道	改築	（他）坂本264号線	現道拡幅 L=2,273m	中津川市	■	■	■	■	■	940		-
	A01-002	道路	一般	中津川市	直接	中津川市	市町村 道	改築	（他）坂本58号線ほか	現道拡幅 L=4,800m	中津川市	■	■	■	■	■	1,040		-
											小計						1,980		
												合計						1,980	

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
中津川市リニア都市政策部で評価を実施	令和4年10月
	公表の方法
	中津川市公式ホームページで公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備完了箇所については、歩道が整備されたことにより歩行者の安全が確保された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引続き早期完成を目指し工事を実施していく。 定量的指標の定義および算定式については、濃飛横断自動車道が評価時点で供用開始されていないため、供用開始されたと仮定して算定した数値である。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	所要時間を30パーセント短縮		
	最 終 目標値	100%	リニア関連工事車両の増加に伴い、通行規制等による地域交通への影響を考慮し事業の進捗率が低下したため。
	最 終 実績値	32%	